

ガイダンス例 1

	選択教科に関するガイダンス
■対象 活動内容 活動内容例	2年 学級活動 （選択教科の時間の一部を充てる） (3)学業生活の充実，将来の生き方と進路の適切な選択に関すること ◎選択教科等の適切な選択 ○学ぶことの意義の理解
■ねらい	選択教科の内容や選択学習の意義を知り，選択の在り方などを十分理解させることにより，生徒自ら設定した課題のもと，見通しをもって主体的に学習に取り組もうとする能力や態度を育成する。
■内容 方法	選択教科の内容や意義を知らせるとともに，選択の在り方を理解させる活動を通して，選択教科の学習に主体的に取り組もうとする意欲と態度を育てるガイダンスを行う。 〔内容例〕・選択教科の教科や内容の紹介 ・選択教科の選択の視点（選択の在り方）を学ぶ ・先輩から選択の在り方を学ぶ会 ・担当教師へのインタビュー活動 ・選択教科の模擬授業 ・選択教科の選択と決定
■評価	様々な選択の視点があることを理解し，自分の考え，理由をもって選択教科を選択しようとする能力や態度が身に付いたか。
■学習開始後の 個別のガイダンス について	全体で行うガイダンスとともに，生徒一人一人の特性に応じた学級担任による個別のガイダンスを行う必要があります。 選択教科における個別のガイダンスとは生徒に「自己の学習の在り方」を考えさせる場です。学級担任が，各選択教科の担当者と十分連携をとって行います。それぞれの生徒のニーズやつまずきをとらえて，具体的な指導・支援を探り，生徒が主体的に学習に取り組んでいく姿勢をはぐくみます。

ガイダンス例 2

	自分を知らう〔個性を生かす生き方〕
■対象 活動内容 活動内容例	1年 学級活動 (2)個人及び社会の一員としての在り方，健康や安全に関すること ◎自己及び他者の個性の理解と尊重 ○社会の一員としての自覚
■ねらい	学級内でのお互いを知る活動や適切な資料を使って活動を行い，自己の個性や適性，長所と短所，興味や関心の動向などを含めて自己の個性を正しく理解させる。それとともに，自分の悩みや不安を見つめながらも，その解決を目指し，夢や希望をもってたくましく生きていく態度や行動力を高める。
■内容 方法	自分の長所・短所，友人への期待と励まし，個性を生かす方法などの題材を設定し，話し合い活動や教育相談の手法を活用したり，社会人などの講話を通して自分の個性を正しく理解させる。他者の生き方にも学ばせ，自己実現への第一歩を踏み出させるガイダンスを行う。 〔内容例〕・自分のよさや特色，仲間のよさや特色を知る活動 他者の生き方を学ぶ活動 【活動やエクササイズの例】 ○お互いのよさ見つけの活動，「私は誰でしょう」の活動（自分についてのヒントを書き，それが誰か当てる） ○こころの4つの窓（自分の特色を整理する） ○自分についてのまとめ（①性格や行動，②教科などの学習，③健康や運動，④趣味や特技，⑤将来の希望，⑥大切にしたいこと など） ○生き方を考える（20年後の自分を夢見よう）
■評価	自分や友人を知る活動を通して，自己の個性を見つめ，他者の個性を理解し互いに尊重しあうとともに，希望をもってたくましく生きていく態度や能力が身に付いたか。